第四号の二書式(第十七条の十五関係)(A4)

(表面)

工　事　監　理　報　告　書

工事監理を終了しましたので、建築士法第20条第3項の規定により、その結果を報告します。

年　　月　　日

(　　)建築士(　　)　登録第　　号

氏名

(　　)建築士事務所　(　　)登録第　　号

所在地

電話　　番

建築主　　殿

<table>
<tr><td>建築物の名称及び所在地</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>工　事　種　別</td><td colspan="4">新築・増築・改築・大規模の修繕・大規模の模様替</td></tr>
<tr><td>建築確認番号</td><td colspan="4">第　　号</td></tr>
<tr><td>建築確認年月日</td><td colspan="4">年　　月　　日</td></tr>
<tr><td>工　事　期　間</td><td colspan="4">年　　月　　日から　　年　　月　　日まで</td></tr>
<tr><td rowspan="2">工事期間における主要な設計変更</td><td>変更年月日</td><td>変更された設計図書の種類</td><td colspan="2">変　更　の　概　要</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">主要な建築材料、建築設備等が設計図書のとおりであることの確認</td><td>確認年月日</td><td>建築材料、建築設備等の名称及び規格</td><td>名称及び規格が定められている設計図書の種類</td><td>確認方法の概要</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">主要な工事が設計図書のとおりに実施されていることの確認</td><td>確認年月日</td><td>確　認　事　項</td><td>確認事項が定められている設計図書の種類</td><td>確認方法の概要</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

（裏面）

工事完了時における確認	確認年月日	確認事項	確認結果の概要	
工事施工者に与えた注意	注意年月日	注意の概要	工事施工者の対応と建築主に対する報告の概要	
建築設備に係る意見	意見を聴いた年月日	意見を聴いた者の住所及び氏名	意見を聴いた者の勤務先の住所及び名称 電話　番	意見を聴いた事項
備考				

〔記入注意〕　1　工事監理を共同で行つた場合においては、連名で報告してください。

2　「工事種別」の欄は、該当するものを○で囲んでください。

3　「工事期間における主要な設計変更」の欄の変更の概要については、変更の内容、変更の理由等の概要を記入してください。

4　「工事施工者に与えた注意」の欄は、建築士法第 18 条第 3 項に規定する注意について記入してください。

5　「建築設備に係る意見」の欄は、建築士法第 20 条第 5 項に規定する場合に記入してください。

6　「備考」の欄は、工事監理に関して特に報告すべき事項等を記入してください。

7　ここに記入しきれない場合には、別紙に書いて添えてください。